

エコアクション21 環境経営レポート

2021 年度版
(2021 年4月～2022 年3月)



**Nishitetsu
Construction**

2022 年6月 10 日 発行

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標の実績	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境経営計画及びその取組結果と評価	7
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	11
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	12
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	13

1. 組織の概要

(1) 事業所名、代表者氏名

西鉄建設株式会社 代表取締役 宮崎 裕二

(2) 所在地

本社 〒810-0074
福岡市中央区大手門二丁目1番10号



(3) 環境管理責任者、担当者氏名、連絡先

総務部長 眞鍋 紀雄
中道 淳子

TEL 092-712-6711 FAX 092-712-5057

E-mail kankyou@kensetsu-nnr.co.jp

(4) 事業活動の内容

建設業

主要商品：マンション、戸建住宅、一般建築（事務所、店舗等）

URL <https://nishitetsu-kensetsu.jp>

建設業	福岡県知事	許可	(特-29)	第22208号
一級建築士事務所	福岡県知事	登録	第1-11367号	
屋外広告業	福岡県知事	登録	第1137号	
	福岡市	登録	第2060088号	
	北九州市	登録	第2060023号	他

(5) 事業の規模

(事業年度：4月～翌年3月)

区分	単位	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	百万円	8,116	6,143	5,854
従業員数	人	66	69	69
床面積	m ²	660	660	660

2. 認証・登録範囲

(1) 対象事業所

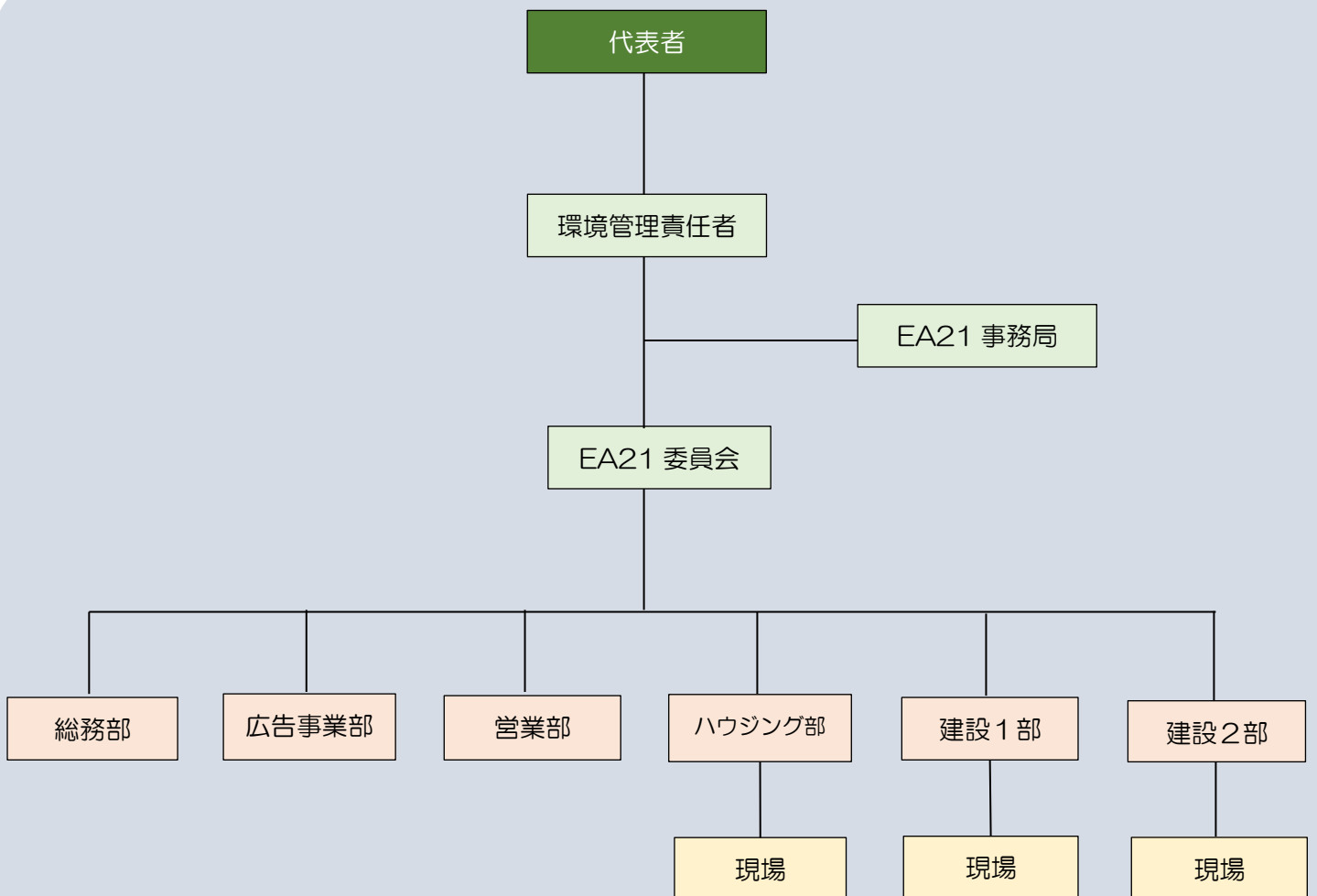
本社

(2) 対象活動

建築物の設計・施工及び広告物の設計・施工

(3) 実施体制

(本社) 69名



3. 環境経営方針

<環境経営理念>

西鉄建設は、『まちに、夢を描こう。』『プロフェッショナルであるというプライドを持ち続け、成長・変革に挑戦し、お客様とともに価値ある建設会社を目指します。』を掲げ、事業活動に当たっては、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境経営の継続的改善に努め、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

<環境行動指針>

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例等を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止のため、省エネルギー（電力及びガソリン使用量の削減）の推進により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物の削減及び適正処理の推進に努めます。
 - ③ 節水の推進に取り組みます。
 - ④ 環境に配慮した施工に努めます。
 - ⑤ 資機材のグリーン調達を推進します。
 - ⑥ 地域での環境活動に積極的に参加します。
3. この環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日：2010年10月1日

改定日：2021年10月1日

西鉄建設株式会社
代表取締役 宮崎 裕二

4. 環境経営目標

- 当社の事業活動特性を踏まえて、2021 年度環境経営目標は本社、建設現場、全社にサイト区分して、以下に示す 5 項目 10 目標を定めました。
- 削減項目は、基準年（2016 年度）実績値から毎年 1%ずつ削減し、本年度は、基準年から 5%削減を目指しました。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	中期目標			
			2016 年度 実績値	2020 年度 (4%削減)	2021 年度 (5%削減)	2022 年度 (6%削減)	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ / 億円	全社	2,192	2,106	2,085	2,064
			本社	1,593	1,531	1,516	1,501
			建設現場	599	575	569	563
	(1)電気使用量の削減	kWh/億円	本社	1,137	1,092	1,081	1,070
			建設現場	1,137	1,092	1,081	1,070
(2)ガソリン使用量の削減	L/億円	本社	430	413	409	405	
2	廃棄物最終処分量の削減	t/億円	建設現場	20.27	19.45	19.26	19.07
3	水使用量の削減	m ³ /億円	本社	8.47	8.14	8.06	7.98
4	化学物質の適正管理	-	建設現場	SDS に基づき適正管理に努める			
5	グリーン調達の推進	品目数 (資機材)	建設現場	10	10	10	10

備考)・購入電力の二酸化炭素排出量は、九州電力(株)の 2015 年度調整後排出係数 (0.528 kg-CO₂/kWh) を用いて算出しました。

・() は、基準年に対する削減率です。

・1~3 の環境経営目標は、売上金額 1 億円当たりの原単位です。

5. 環境経営目標の実績

- エコアクション21を運用した2021年度（2021年4月～2022年3月）における環境経営目標に対する実績は次のとおりです。
- 設定した環境経営目標5項目10目標全て達成しております。
- なお、二酸化炭素排出量の総量は、2021年度が80,685 kg-CO₂で、前年度（2020年度=72,022 kg-CO₂）比で、約12%の増加となりました。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	2021年度 (2021年4月～2022年3月)		目標 達成率	達成 状況 判定	
			2016年度 実績値	目標	実績			
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ / 億円	全社	2,192	2,085	1,123	186%	◎	
		本社	1,593	1,516	876	173%	◎	
		建設 現場	599	569	502	113%	○	
	(1)電気使用量の削減	kWh/億円	本社	1,137	1,081	648	167%	◎
			建設 現場	1,137	1,081	951	114%	○
	(2)ガソリン使用量の削減	L/億円	本社	430	409	230	178%	◎
2 廃棄物最終処分量の削減	t/億円	建設 現場	20.27	19.26	14	141%	◎	
3 水使用量の削減	m ³ /億円	本社	8.47	8.06	7.8	104%	○	
4 化学物質の適正管理	—	建設 現場	—	SDSに基づ き適正管理 に努める	SDSに基づ き適正管 理に努めた	—	○	
5 グリーン調達の推進	現場数 (資機材)	建設 現場	10	10	15	150%	◎	

備考)・達成状況評価区分 ◎:120%≦目標達成率、○:100%≦目標達成率<120%、△:80%≦目標達成率<100%、
×:目標達成率<80%、—:判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100 増加目標の場合:実績÷目標×100

6. 環境経営計画

環境経営目標	取組目標	サイト区分	具体的取組
1 二酸化炭素排出量の削減	(1) 電力使用量の1%削減	本社 建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 20℃)を実行する ・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼食時・不使用時消灯 ・長時間離席時・帰宅時パソコン電源 off
	(2) ガソリン使用量の1%削減	本社	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ 10 のすすめによる運転方法の励行 ・定期点検の着実な実施 ・公共交通利用による社有車の使用削減 ・社有車を低燃費・低公害車へ切り替える
2 廃棄物最終処分量の削減	(1) 廃棄物最終処分量の1%削減	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・建設汚泥含水量の低減
3 水使用量の削減	(1) 節水活動	本社	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の啓発
4 化学物質の適正管理	(1) 化学物質の適正管理	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・SDS の取寄せ、備え置きによる適正管理
5 環境に配慮した商品の提供 (自社独自の取組)	(1) 環境負荷低減商品の提供	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減商品の提案・企画・実施
6 グリーン調達の推進	(1) 資機材のグリーン調達	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した資機材の調達に努める
7 地域貢献活動の推進 (自社独自の取組)	(1) 地域での環境保全に貢献する	全社	<ul style="list-style-type: none"> ・職場周辺の地域清掃活動

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

- ・2021年度の環境経営計画の具体的取組の実施状況は以下のとおりであり、全取組が適切に実施できました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 電力使用量の削減	本社	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 20℃)を実行する ・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼食時・不使用時消灯 ・長時間離席時・帰宅時パソコン電源 off 	○	<現状> ・節電の取組は、本社事務所、建設現場ともに適切に実施され、環境経営目標も高いレベルで達成しています。 ・エコドライブ等ガソリン使用量の削減取組も実施されており、同様に目標を達成し、結果として二酸化炭素排出量の目標を達成出来ました。 ・社有車も順調にハイブリッドへの切替を行っています。 <今後> ・引き続き取組を継続します。
				◎	
	建設現場	○		○	
				○	
(2) ガソリン使用量の削減	本社	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ 10 のすすめによる運転方法の励行 ・定期点検の着実な実施 ・公共交通利用による社有車の使用削減 ・社有車を低燃費・低公害車へ切り替える 	◎	
				◎	
				◎	
				◎	

- 備考) ・目標達成状況判定区分 ◎：120%≦目標達成率、○：100%≦目標達成率<120%、
 △：80%≦目標達成率<100%、×：目標達成率<80%、—：判定不可
 ・取組実施状況判定区分 ◎：よく実施できている（定着）、○：実施できている、△：概ね実施できている、
 ×：実施できていない、—：判定不可

【エアコン設定温度 夏 28℃・冬 20℃】



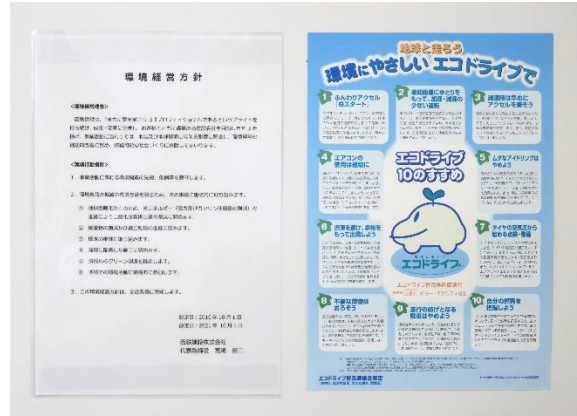
【窓ガラスに遮熱フィルム貼付】



【ハイブリッド車・低燃費車への転換】



【環境経営方針・エコドライブ 10のすすめ】



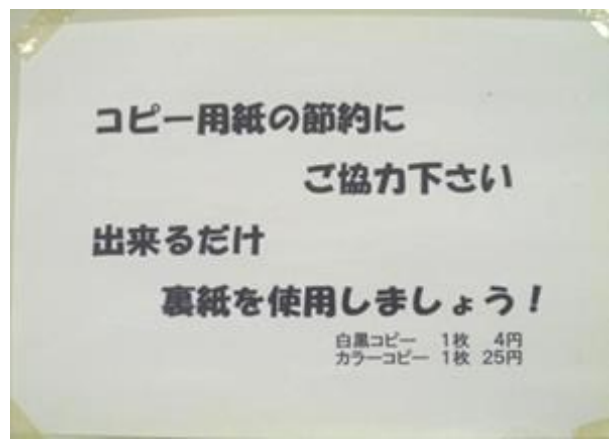
2. 廃棄物最終処分量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 廃棄物最終処分量の削減	建設現場	◎	・建設汚泥含水量の低減	○	<現状> ・目標達成しました。 <今後> ・引き続き取組を継続します。

【本社の分別回収ボックスの設置】



【コピー削減啓発ポスター】



【現場での産業廃棄物の分別】



【防音シート（騒音・粉塵対策）】



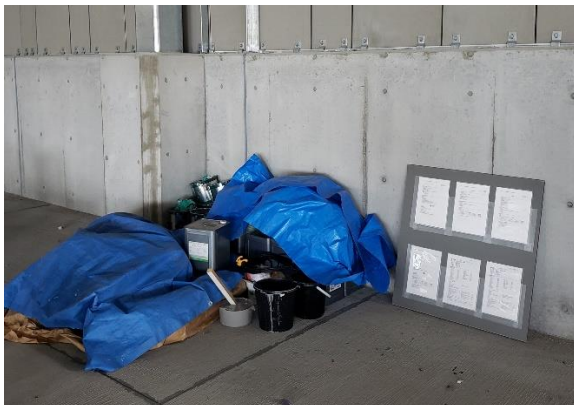
3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 節水活動	本社	○	・節水の啓発	○	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水への意識は定着し、目標を達成できました。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取組を継続します。

4. 化学物質の適正管理

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 化学物質の適正管理	建設現場	○	・SDSの取寄せ、備え置きによる適正管理	◎	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各現場で取組は適切に実施されています。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取組を継続します。

【SDSの掲示】



5. 環境に配慮した商品の提供（自社独自の取組）

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 環境負荷低減商品の提供	建設現場	—	・環境負荷低減商品の提案・企画・実施	○	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各現場での取組は適切に実施されています。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取組を継続します。

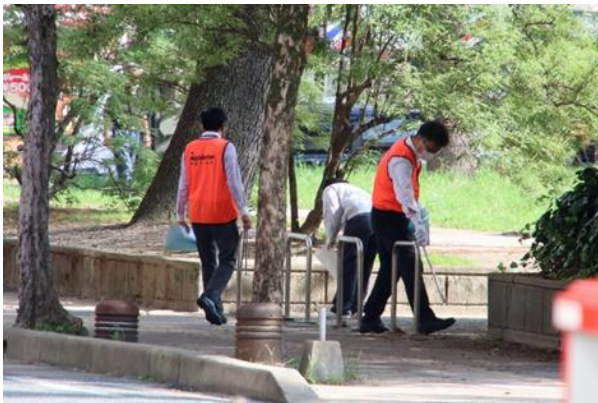
6. グリーン調達の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 資機材のグリーン調達	建設現場	◎	・環境に配慮した資機材の調達に努める	○	<現状> ・各現場での取組は適切に実施されています。 <今後> ・引き続き取組を継続します。

7. 地域貢献活動の推進（自社独自の取組）

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価（今後の取組方向も含む）
(1) 地域での環境保全に貢献する	全社	—	・職場周辺の地域清掃活動	○	<現状> ・予定通り実施できました。 <今後> ・社会貢献につながるよう引き続き取組を継続します。

【現場周辺の清掃活動・通学見守り活動など】



【環境改善対策（新型コロナウイルス対策：消毒液の設置等）】



8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

期間 : 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

・基本的な取り組みは変えないが、次年度より一般廃棄物排出量の削減の取組項目を増やし、2020年度策定した中期計画の2022年度目標に追加し次年度適用します。

環境経営目標		取組目標	サイト区分	取組計画
1	二酸化炭素排出量の削減	(1)電力使用量の削減	本社 建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 20℃)を実行する ・クールビズ・ウォームビズの実施 ・昼食時・不使用時消灯 ・長時間離席時・帰宅時パソコン電源 off
		(2)ガソリン使用量の削減	本社	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ 10 のすすめによる運転方法の励行 ・定期点検の着実な実施 ・公共交通利用による社有車の使用削減 ・社有車を低燃費・低公害車へ切り替える
2	廃棄物最終処分量の削減	(1)一般廃棄物排出量の削減	本社	<ul style="list-style-type: none"> ・排出物の分別 ・ペーパーレス化の推進等による紙資源の節減(両面コピー・裏紙の推奨) ・回収 BOX の古紙回収
		(2)廃棄物最終処分量の削減	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・分別リサイクルの推進 ・マニフェスト管理の徹底
3	水使用量の削減	(1)節水活動	本社	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の啓発
4	環境に配慮した施工の推進 (自社独自の取組)	(1)環境配慮施工の実施	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の適正管理 (SDS の取り寄せ、備え置き) ・周辺環境に配慮した施工の実施
5	グリーン調達への推進	(1)資機材のグリーン調達	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した資機材の調達に努める
6	地域貢献活動の推進 (自社独自の取組)	(1)地域での環境保全に貢献する	全社	<ul style="list-style-type: none"> ・職場周辺の地域清掃活動

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

- 2021 年度事業活動に対して、当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

環境関連法規	要 求 事 項	遵守判定
廃棄物処理法	保管基準の遵守	○
	管理票（マニフェスト）の交付・保管	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	産業収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○
	多量排出事業者の義務	○
	投棄・焼却禁止	○
建設リサイクル法	建設業等を営む者の責務	○
	分別解体等実施義務	○
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	○
	再資源化等実施義務	○
	発注者への報告等	○
	下請人に対する元請業者の指導	○
資源有効利用促進法	再資源利用計画の作成、記録及び保存	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業実施の届出 石綿含有建材事前調査の実施・報告	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	基準適合車の使用	○
	適正燃料の使用（軽油）、点検・整備の励行	○
石綿障害予防規則	作業計画作成 工事受注者への情報提供義務	○
建築基準法	石綿含有その他の物質の飛散または発生に対する衛生上の措置	-
	石綿含有及びクロルピリホス添加建材の使用禁止 ホルムアルデヒドに関する規制	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
	特定建設作業の事前届出	○
振動規制法	規制基準の遵守	○
	特定建設作業の事前届出	○

備考) 遵守判定区分 ○：遵守、×：不遵守、-：該当無し

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 取組状況の全体評価

- エコアクション21への取組を通して、社員一人ひとりの環境に対する高い意識が定着しています。
- 環境経営方針に化学物質の適正管理を加えており、建設現場での継続した SDS（安全データシート）の活用など更なる環境への安全、配慮に取り組んでいます。
- 昨年度より会議等のペーパーレス化を推進するため、プロジェクター等を使用していますが、更なる業務効率化を進めるなど引続き意識改革に取り組んでいきます。
- ガソリン使用量については、引続きエコドライブの実践、給油および走行データの記録を実施し、リース車を順次ハイブリッド車に切り替えるとともに、公共交通機関の利用を勧めるなど、更なる削減に取り組んでいます。
- 電気使用量については、本社・現場ともに、昼休み・通路部分の消灯、エアコン設定温度の徹底、クールビズの取り組み等が確実に実行されており、目標達成できています。新型コロナウイルス感染対策は継続しつつ、今後も各自意識して、無理なく省エネに取り組むつつ目標達成に向けて取り組んでいきます。

(2) 見直しの結果

- 本年度は決められた取組が適切に実施され、環境経営目標の達成状況も良好との結果となりました。取組が定着してきたものと評価します。
- 本年度より新ガイドラインによる本格的なシステム運用となりましたので、環境経営方針及び環境経営目標を見直しました。環境経営計画等も適宜見直し、取組を進めてまいります。



西鉄建設株式会社
代表取締役 宮崎 裕二